

データサイエンス学科 アドミッション・ポリシー

これからの産業には現状の改善だけではなく、新しい価値を生み出すことが求められています。勘や経験をもとにするのではなく、科学的な分析に基づいたシステム設計が求められています。一方で情報技術の発展は、想像を超えるデータの収集とその分析を可能にしました。データサイエンス学科では、情報技術だけではなくデータ分析能力やマネジメント能力、問題解決能力を身につけることで、新たな価値を創造できるデータサイエンスのプロフェッショナルを育成します。

求める人物像

1. 行動や現象に規則性を見出したり、新たな発見をしたりする能力を身につけたい人
2. 情報技術だけではなく社会システムに関する知識を身につけたい人
3. 産業における情報システムの企画・設計に興味のある人
4. 組織運営や企業経営に興味がある人

入学前に学習しておくことが期待される内容

データサイエンス学科に入学するまでに、以下に記した能力を身に付けておくことを求めます。

1. 現実の問題を抽象化して数学的に表現するとともに、基本概念や法則を活用して論理的に考察し数学的に処理する能力を有していること
2. 物理、化学、あるいは生物に関し、各々に関する現象をその背後にある理論を理解したうえで筋道立てて論理的に説明できること。または、政治、経済、国際情勢等の社会問題に関する基礎的知識を有していること
3. 基本的な英文の読解力・語彙力・文法力を有すること。また、平易な英文を用いて意思を伝え、相手の意図を理解できる基本的なコミュニケーション能力を有していること
4. 国語は、基本的な読解力と論理的な文章の作文力を有すること